



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年7月28日

上場会社名 株式会社 横河ブリッジ
(URL <http://www.yokogawa-bridge.co.jp/>)

(コード番号：5911 東証第1部)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 佐々木 恒 容
問合せ先責任者 役職名 業務本部経理部長 氏名 宮 本 正 信

TEL (03) 3453 - 4116

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計算等、一部簡便的な方法を採用しております。
②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	11,457	△13.5	△521	—	△450	—	△554	—
18年3月期第1四半期	13,246	△54.7	△440	—	△297	—	△129	—
(参考)18年3月期	62,538		△1,462		100		△4,135	

	一株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 一株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	△13.57	—
18年3月期第1四半期	△3.17	—
(参考)18年3月期	△101.10	—

(注)パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループの主要な事業であります鋼構造物のうち橋梁事業につきましては、当社を含む多くの鋼橋製作会社が独占禁止法違反による指名停止措置を受けた影響が強く残りましたが、当第1四半期の新設橋梁の発注量は前年同期を上回りました。しかし、採算面では過当競争が続いたため、厳しい状況が続きました。一方、建築環境事業につきましては、民間設備投資の増加が続きましたので需要は堅調に推移しましたが、ゼネコンによる競争が激化したため採算の確保が困難な状況が続きました。当社グループは、このような状況の中で精力的に営業活動を展開し、地方自治体から数件の大型新設橋梁工事を受注しましたので、前年同期と比較し大幅に受注量を伸ばすことができました。

決算面では、当社グループの売上高は季節的要因から下半期に集中する傾向が強いことに加え、当社においては指名停止措置により、前期の橋梁受注量が大幅に落ち込んだ影響から橋梁生産量が減少したため、当第1四半期の売上高は114億5千万円に止まりました。また、売上高の減少により販売費及び一般管理費を吸収できるまでの利益を確保するにはいたらず、営業損失は5億2千万円、経常損失は4億5千万円、四半期純損失は5億5千万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	総資産	純資産	自己資本比率	一株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	90,297	55,477	61.4	1,356.85
18年3月期第1四半期	97,052	53,224	54.8	1,301.03
(参考)18年3月期	94,511	51,774	54.8	1,266.24

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注)金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	2,852	△ 381	△ 188	15,181
18年3月期第1四半期	5,888	△ 1,240	△ 221	19,410
(参考) 18年3月期	△ 927	△ 547	△ 603	12,896

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

①財政状態

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較し42億1千万円減少しました。資産の部は、工事代金が順調に入金しましたので、受取手形及び完成工事未収入金等が60億6千万円減少し、現金同等物扱いの有価証券が31億9千万円増加しました。また、手持工事の生産の進捗に伴い未成工事支出金及び仕掛品が29億5千万円増加しましたが、株価が下落した影響から手持ち有価証券の評価額が下落したことなどにより、投資その他の資産が25億4千万円減少しました。

負債の部は、前連結会計年度と比較し20億1千万円減少しました。主な増減項目としては、工事代金の入金により未成工事受入金が21億円増加しましたが、生産量の減少に伴い支払手形及び工事未払金等が13億7千万円減少したほか、その他流動負債が15億4千万円減少しました。

純資産の部は、554億7千万円となりました。この結果、自己資本比率は61.4%となりました。

②キャッシュ・フロー

当第1四半期末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べて22億8千万円増加し、151億8千万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は28億5千万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失8億4千万円に減価償却費5億3千万円など非資金項目の調整を加えているほか、受取手形及び完成工事未収入金等が60億6千万円減少したことなどによりますが、未成工事支出金及び仕掛品の増加29億5千万円などによりその一部が相殺されています。

なお、当社グループでは、公共事業への依存度が高いため、期末前後に工事代金の回収が集中し、キャッシュ・フローが増加しますが、第2・第3四半期には工事関連費用の支払いが先行し、キャッシュ・フローは減少する傾向があります。

投資活動の結果使用した資金は3億8千万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得3億3千万円および有価証券の取得3億5千万円によりますが、有価証券の売却3億円によりその一部が相殺されています。財務活動の結果使用した資金は1億8千万円となりました。これは、主に配当金の支払い1億8千万円によるものです。

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	29,000	△ 850	△ 350
通期	63,500	△ 2,300	200

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)

4円 89銭

[業績予想に関する定性的情報等]

上記予想値は、平成18年5月22日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

期 別 科 目	当第1四半期 (平成18年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)		増 減 (△印は減)		前第1四半期 (平成17年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産								
現金預金	8,995		9,609		△ 614		9,733	
受取手形及び 完成工事未入金等	14,674		20,735		△ 6,061		17,421	
有価証券	6,579		3,383		3,196		10,884	
未成工事支出金及び仕掛品	13,500		10,547		2,952		13,578	
その他流動資産	4,295		5,336		△ 1,040		4,598	
貸倒引当金	△ 25		△ 23		△ 1		△ 39	
流動資産合計	48,020	53.2	49,588	52.5	△ 1,568	△ 3.2	56,177	57.9
II 固定資産								
有形固定資産	21,898		21,902		△ 3		22,130	
無形固定資産	855		954		△ 98		1,213	
投資その他の資産	19,523		22,065		△ 2,542		17,531	
固定資産合計	42,276	46.8	44,922	47.5	△ 2,645	△ 5.9	40,874	42.1
資産合計	90,297	100.0	94,511	100.0	△ 4,214	△ 4.5	97,052	100.0
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形及び工事未払金等	11,816		13,189		△ 1,373		13,168	
未成工事受入金	7,325		5,216		2,108		9,856	
賞与引当金	1,121		959		162		1,509	
工事損失引当金	605		1,091		△ 486		—	
損害補償損失引当金	1,587		1,587		—		—	
その他流動負債	1,746		3,292		△ 1,545		1,932	
流動負債合計	24,203	26.8	25,337	26.8	△ 1,134	△ 4.5	26,467	27.3
II 固定負債								
退職給付引当金	6,864		6,789		75		7,304	
役員退職慰労引当金	1,213		1,228		△ 14		1,157	
その他固定負債	2,538		3,475		△ 937		2,039	
固定負債合計	10,616	11.8	11,493	12.2	△ 877	△ 7.6	10,502	10.8
負債合計	34,819	38.6	36,830	39.0	△ 2,011	△ 5.5	36,969	38.1
(少数株主持分)								
少数株主持分	—	—	5,905	6.2	△ 5,905	—	6,858	7.1
(資本の部)								
I 資 本								
資 本 金	—	—	9,435	10.0	△ 9,435	—	9,435	9.7
II 資 本 剰 余 金	—	—	9,033	9.6	△ 9,033	—	9,033	9.3
III 利 益 剰 余 金	—	—	29,820	31.6	△ 29,820	—	33,977	35.0
IV 土 地 再 評 価 差 額 金	—	—	△ 1,373	△ 1.5	1,373	—	△ 814	△ 0.8
V その他有価証券評価差額金	—	—	6,933	7.3	△ 6,933	—	3,650	3.7
VI 自 己 株 式	—	—	△ 2,073	△ 2.2	2,073	—	△ 2,057	△ 2.1
資 本 合 計	—	—	51,774	54.8	△ 51,774	—	53,224	54.8
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	—	94,511	100.0	△ 94,511	—	97,052	100.0
(純資産の部)								
I 株 主 資 本								
資 本 金	9,435	10.4	—	—	9,435	—	—	—
資 本 剰 余 金	9,033	10.0	—	—	9,033	—	—	—
利 益 剰 余 金	29,112	32.2	—	—	29,112	—	—	—
自 己 株 式	△ 2,075	△ 2.3	—	—	△ 2,075	—	—	—
株 主 資 本 合 計	45,505	50.3	—	—	45,505	—	—	—
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
その他有価証券評価差額金	5,579	6.2	—	—	5,579	—	—	—
土 地 再 評 価 差 額 金	△ 1,373	△ 1.5	—	—	△ 1,373	—	—	—
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	4,205	4.7	—	—	4,205	—	—	—
III 少 数 株 主 持 分	5,766	6.4	—	—	5,766	—	—	—
純 資 産 合 計	55,477	61.4	—	—	55,477	—	—	—
負 債 ・ 純 資 産 合 計	90,297	100.0	—	—	90,297	—	—	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

期 別 科 目	当第1四半期 〔平成18年4月1日から 平成18年6月30日まで〕		前第1四半期 〔平成17年4月1日から 平成17年6月30日まで〕		増 減 (△印は減)		前連結会計年度 〔平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで〕	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
I 売 上 高	11,457	100.0	13,246	100.0	△ 1,789	△ 13.5	62,538	100.0
II 売 上 原 価	10,245	89.4	11,899	89.8	△ 1,653	△ 13.9	57,508	92.0
売 上 総 利 益	1,211	10.6	1,347	10.2	△ 135	△ 10.1	5,029	8.0
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,732	15.1	1,787	13.5	△ 54	△ 3.1	6,492	10.3
営 業 損 失 (△)	△ 521	△ 4.5	△ 440	△ 3.3	△ 80	—	△ 1,462	△ 2.3
IV 営 業 外 収 益	129	1.1	170	1.3	△ 41	△ 24.1	1,744	2.8
有 価 証 券 売 却 益	—	—	—	—	—	—	1,248	—
そ の 他 営 業 外 収 益	129	—	170	—	△ 41	—	496	—
V 営 業 外 費 用	59	0.5	28	0.2	30	109.2	180	0.3
経常利益又は経常損失(△)	△ 450	△ 3.9	△ 297	△ 2.2	△ 152	—	100	0.2
VI 特 別 利 益	38	0.3	16	0.1	21	126.5	90	0.1
VII 特 別 損 失	436	3.8	—	—	436	—	4,404	7.0
損 害 補 償 損 失 引 当 金 繰 入 損	—	—	—	—	—	—	1,587	—
異 常 操 業 度 損 失	436	—	—	—	436	—	1,579	—
課 徴 金	—	—	—	—	—	—	903	—
そ の 他 特 別 損 失	0	—	—	—	0	—	334	—
税金等調整前 四半期(当期)純損失(△)	△ 849	△ 7.4	△ 280	△ 2.1	△ 568	—	△ 4,213	△ 6.7
税 金 費 用	△ 189	△ 1.7	△ 101	△ 0.8	△ 87	—	535	0.9
少 数 株 主 損 失 (△)	△ 105	△ 0.9	△ 49	△ 0.3	△ 55	—	△ 612	△ 1.0
四半期(当期)純損失(△)	△ 554	△ 4.8	△ 129	△ 1.0	△ 425	—	△ 4,135	△ 6.6

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科 目	当第1四半期 (平成18年4月1日から 平成18年6月30日まで)		前第1四半期 (平成17年4月1日から 平成17年6月30日まで)		増 減	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)		
	金 額 (△は資金の減少)		金 額 (△は資金の減少)		金 額	金 額 (△は資金の減少)		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー								
税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△	849	△	280	△	568	△	4,213
減価償却費		531		443		88		1,784
連結調整勘定償却額	△	3	△	34		30	△	115
退職給付引当金の増減額		75		32		42	△	482
工事損失引当金の増減額	△	486		—	△	486		1,091
その他の引当金の増減額		149		23		125		1,148
有価証券売却損益	△	2	△	3		1	△	1,248
その他の収益及び費用の非資金分等(純額)	△	76	△	94		18	△	1
受取手形及び完成工事未収入金等の増減額		6,061		11,036	△	4,975		7,722
未成工事支出金及び仕掛品の増減額	△	2,952	△	1,408	△	1,543		1,655
支払手形及び工事未払金等の増減額	△	1,373	△	1,499		126	△	1,478
未成工事受入金等の増減額		2,108		1,015		1,093	△	3,624
預り金の増減額	△	154	△	1,219		1,065	△	855
その他の資産及び負債の増減額	△	120	△	622		501	△	861
小 計		2,907		7,388	△	4,480		522
利息及び配当金受取額		87		71		16		197
利息の支払額	△	6		—	△	6	△	25
法人税等の支払額	△	137	△	1,570		1,433	△	1,622
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,852		5,888	△	3,036	△	927
II 投資活動によるキャッシュ・フロー								
有価証券の取得による支出	△	350	△	1,357		1,006	△	3,330
有価証券の売却による収入		306		353	△	47		3,772
有形固定資産の取得による支出	△	333	△	204	△	129	△	898
有形固定資産の売却による収入		—		0	△	0		2
無形固定資産の取得による支出	△	27	△	94		67	△	369
その他の投資活動による支出	△	35	△	6	△	29	△	54
その他の投資活動による収入		59		68	△	8		330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	381	△	1,240		859	△	547
III 財務活動によるキャッシュ・フロー								
再生債権等の弁済による支出		—		—		—	△	213
配当金の支払額	△	187	△	217		30	△	370
その他(純額)	△	1	△	3		2	△	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	188	△	221		32	△	603
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		2	△	3		6	△	12
V 現金及び現金同等物の増減額		2,284		4,423	△	2,139	△	2,090
VI 現金及び現金同等物の期首残高		12,896		14,986	△	2,090		14,986
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		15,181		19,410	△	4,229		12,896

4. (参考) 製品別売上高、受注高及び受注残高 (単位: 百万円、単位未満切り捨て)

区分 製品別		期 別	当第1四半期 〔平成18年4月1日から 平成18年6月30日まで〕	前第1四半期 〔平成17年4月1日から 平成17年6月30日まで〕	増 減 (△印は減)	前連結会計年度 〔平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで〕
			金 額	金 額	金 額	金 額
売 上 高	橋 梁		6,417	9,262	△2,845	38,398
	建築環境他		4,549	3,546	1,003	21,997
	鋼構造物計		10,966	12,808	△1,841	60,396
	情報処理		258	210	48	1,247
	不 動 産		231	227	3	894
	合 計		11,457	13,246	△1,789	62,538
受 注 高	橋 梁		10,838	5,998	4,839	30,641
	建築環境他		6,519	5,449	1,069	25,123
	鋼構造物計		17,358	11,448	5,909	55,764
	情報処理		322	238	83	1,110
合 計		17,680	11,687	5,993	56,875	
受 注 残 高	橋 梁		42,568	42,640	△72	38,146
	建築環境他		15,466	12,274	3,192	13,496
	鋼構造物計		58,034	54,914	3,120	51,643
	情報処理		586	688	△102	522
合 計		58,621	55,603	3,018	52,166	